

漁連だより

'20
5

No.301



長崎県漁業協同組合連合会

長崎県漁連ホームページアドレス

<http://www.nsgyoren.jf-net.ne.jp/>

▼	「JFおさかなマルシェギョギョいち」が開設.....	1 頁
▼	浜からの報告（海藻編）.....	2 頁
▼	「JFシエルナース」 貝殻基質の効果・種苗放流受け皿.....	3 頁
▼	『第二十五回全国青年・女性漁業者交流大会』.....	5 頁
▼	募金ありがとうございます.....	6 頁
▼	ガザミを採捕される皆様へ.....	7 頁
▼	持続化給付金制度に関するお知らせ.....	8 頁
▼	クロマグロTAC長崎県計画（第6管理期間）について.....	9 頁
▼	漁船海難月報～速報（四月分）～ 第七管区海上保安本部.....	11 頁

表紙の写真

今月号の表紙は、煮干の入札風景の様子を掲載しています。

「JFおさかなマルシェギョギョいち」が開設

福岡事業部 営業課

「JFおさかなマルシェギョギョいち」は、全国漁業協同組合連合会が運営しており、全国の浜から漁師がお薦めする美味しい海の幸を集めた、魚介を取り扱うグルメ産地直送インターネット通販サイトです。本会からは、「鮮魚セット」や「対馬西沖アナゴ」等が掲載され人気となっています。

当サイトのオープン時には全国から参加団体が集まり、水産庁や全漁連、魚食普及推進委員である「さかなクン」、料理関係者などが集まり、盛大にオープニングイベントを行う予定でしたが新型コロナウイルス感染症予防のため静かな船出となっています。

このサイトは、水産庁のバリューチェーン改善促進事業を活用しJF生産者が主体となつて生産・加工・流通・消費まで、生産性における問題点の改善に取り組みながら魚食普及を推進することを目的として開設されました。

説明文に加え、水揚げ魚市でのセリの様子、漁港や養殖場の風景、料理イメージ等より視覚効果にこだわった写真や動画、ドローン映像等を掲載しています。今回の開設時はまだ一部の公開となっていますが、追って公開されていくこととなっています。今年度は、新たに二十五県を加えて二年目に突入予定となっています。

本会としては、新たな商品を開発し提案することで、長崎県の魅力ある水産製品のPRや水産業の発展に繋げて参ります。



JFおさかなマルシェギョギョいちの広告

立ち上げ初年度となる今年は全漁連と十道県（北海道・青森・千葉・石川・三重・兵庫・山口・愛媛・大分・長崎）のJF系統団体が参加し、各県委員が集められた全国協議会が設けられスタートしています。長崎県では漁村加工メンバーを中心に下部組織として長崎分科会を設立し、水産製品の提案を行っています。開設時は各県二〜四商品の提案となっています。



本会の商品である「長崎産鮮魚セット」



検索
JFおさかなマルシェ
ギョギョいち

<https://jf-gyogyo.jp/>



本会の商品である「対馬西沖アナゴ」

浜からの報告（海藻編）

販売部 製品販売課

四月に入り本格的な海藻シーズンを迎え、長崎県各地はヒジキ・フノリ等の収穫時期に入っているものの、暖冬・食害・磯焼け・生産者の高齢化等により年々収穫量は減少しています。また、今年は新型コロナウイルスにより日本国内の飲食店の休業や学校の休校を受け、給食等の消費が落ち込んでおり、海藻メーカーの原料在庫等も多く抱え、単価も下げ相場になっている状況です。

度に二〇〇トンあったヒジキが今年度は一〇トン未満ではないかと予測されており、減少している要因として特に食害がひどく厳しい状況が続いています。その対策として、離島漁業再生交付金・水産漁業多面的機能発揮対策事業等を活用しながらヒジキの養殖、イスズミの駆除、藻場の回復・増大に取り組んでいます。海藻全般の減少に歯止めが利かない状況です。

県北地区において、ここ数年ヒジキは増産傾向にありましたが、今年度は浜によつては全く生えていない地域も見られ減産が予測されています。県南地区も同様、全体的に減産傾向にあり、口開けをしていない地域もあります。今年度、特に減産傾向となっている要因として温暖化等の影響により暖冬であった為、海藻の発育が不安定だったのではないかと考えられます。また毎年の課題である、発育場所の磯焼けによる資源の減少や、高齢化による採取人口の減少についても改善には至っていません。



ヒジキの収穫風景



養殖ヒジキの様子

(2)

志岐・対馬地区については、平成二十五年

今後について、ここ数年単価の高騰で生産力は向上傾向にあり、増産できる地域は増えています。下げ相場となっている今年は劣勢状況です。天候により好不漁が左右されやすい海藻ですが、今後も長崎県の良質な海藻商品を生産する事により価格の安定を目指し、継続的に販売できるよう邁進していきます。

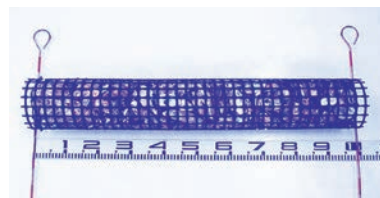
「JFシェルナース」 貝殻基質の効果・種苗放流受け皿

購買部 購買課

本会では、JFブランド商品として貝殻魚礁「JFシェルナース」と小型貝殻ブロック「貝藻くん」を海洋建設株式会社（開発・製造）とともに販売推進しています。今回は、JFシェルナースに取り付けている貝殻基質の効果と、種苗放流の受け皿としての活用事例をご紹介します。

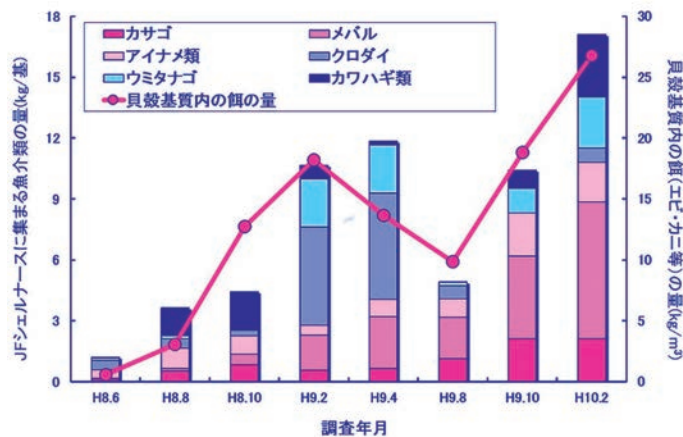
【貝殻基質の効果】

JFシェルナースに取り付けている貝殻基質には、貝殻の重なりによって小さな隙間が多くできます。この隙間には、エビ・カニ類などの小型生物が多く住みつき、これらが魚介類の餌として利用されます。JFシェルナースに集まる魚介類の量は貝殻基質に生息するエビ・カニ類の量と同調しており、餌が多い人工魚礁に魚が多く集まると言えます。



貝殻基質

また、JFシェルナースは、貝殻基質をパネル状に配置して大小様々な空間を創り出しているため、多くの魚介類の隠れ場や産卵場としても利用されています。このように餌場、隠れ場、産卵場の機能に優れたJFシェルナースは、近年少なくなってきた海のゆりかごと言われる「藻場」がもつ、多くの水産資源を保護育成する役割の一助になることも期待できます。



貝殻基質の餌生物量（折れ線）と
JF シェルナースに集まる魚介類の量（棒グラフ）

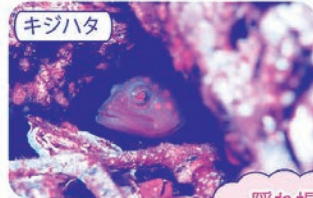
貝殻魚礁「JF シェルナース」の効果

エサ場



餌生物（エビ・カニ類）

キジハタ



隠れ場

産卵場



メバル抱卵個体



JF シェルナース

クエ

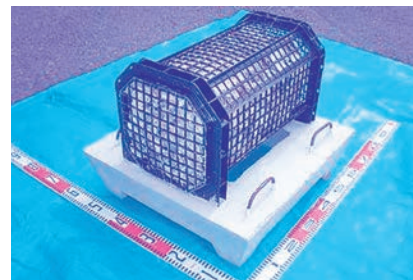


【種苗放流の受け皿】

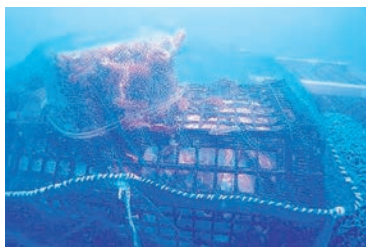
貝殻魚礁は、クエ、カサゴ、イサキ、アワビ、イセエビ等の放流時の受け皿としても活用されています。餌や隠れ場が多い本礁に放流することにより、人工種苗がいち早く自然に馴染んで放流初期の生残を高めることが期待できます。

また、貝殻魚礁を小型軽量化した「貝藻くん」（重さ六十kg）は人力設置が可能であることから、離島漁業再生支援交付金事業等を活用し、静穏な漁港内に貝藻くんを配置して放流環境を強化する取り組みが全国で広がっています。

北海道南部では、漁港内に設置した貝藻くんに体長一〜三cmのナマコ種苗二〇〇〇個体を放流しました。三カ月後に実施された調査では、約三〇〇〜七五〇個体の稚ナマコが残っており、貝藻くんが放流の受け皿として機能していることが確認できました。



小型貝殻ブロック「貝藻くん」



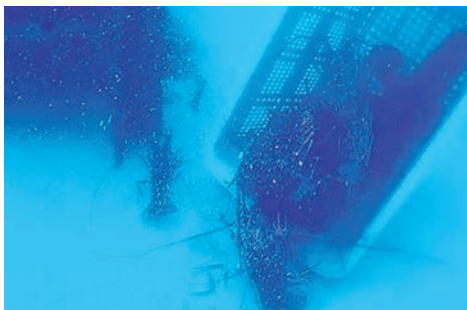
ナマコ種苗放流の様子



3カ月後に確認した稚ナマコの一部

利用の幅が広がっている「JFシエルナーズ」、「貝藻くん」に関するお問い合わせは、本会購買課までよろしくお願ひします！

各地の種苗放流の取り組みが映像でご覧いただけます



抱卵イセエビの放流



アワビ種苗放流



クエ種苗放流

『第二十五回全国青年・女性漁業者交流大会』

長崎県漁協青壮年部連合会

去る令和二年三月三日から四日にかけて東京都のホテルグランドアーク半蔵門にて行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け書類審査となりまし
た。本県からは新松浦漁業協同組合青年部 渡邊健斗氏が「農林水産大臣賞」を、
長崎地区漁業士会 山下好則氏が「全国漁業協同組合連合会長賞」を受賞しました。

本大会は、全国の青年・女性漁業者が、日頃の研究・実践活動の成果を発表するとともに、参加者間の交流により知識や情報を共有・進化させることで、水産業・漁村の発展と活性化に資することを目的に毎年開催されています。

当号で農林水産大臣賞を受賞した渡邊氏の取組を、次号で全国漁業協同組合連合会長賞を受賞した山下氏の取組について掲載します。

●第五分科会（多面的機能・環境保全部門）

新松浦漁業協同組合青年部 渡邊 健斗氏
『将来へ！水産資源を残すため!!』

【取組概要】

直近十五年間においては鷹島地区では、沿岸域の水産資源だけではなく、アワビ等の磯根資源も大きく減少している。青年部員の中には、採介藻漁業にも従事する者が多いことから、同時に磯焼けの進行を目のあたりにする中で、磯根資源の減少に対し危機感が広がった。また、最近では赤潮による養殖魚類への被害が頻発しており、磯焼けが進行すると赤潮が発生しやすくなるとの研究報告を見聞きし、魚類養殖業を営む部員にまで危機感が広がった。

そこで、青年部は将来へ水産資源を維持し、磯焼けの進行を食い止めることを目的として、平成二十五年度から「水産多面的機能発揮対策事業」を活用して、本格的に藻場保全活動を開始した。

青年部は、保全活動の開始前から採介藻漁業等により漁場を利用し、状況を観察してきたが、磯焼けが進行したことから、どのよう

な保全活動が磯焼け回復に有効なのかを協議した。その結果、最初は藻場回復手法の知見を得るために、平成二十五年度から調査方法等の情報を収集しながら、手探りで①藻場の状況確認、②有害生物の駆除、③市販レンガブロックによる海藻の増殖、④ガンガゼの試験販売の四つの活動を行うこととした。

藻場の状況確認による活動の進め方として、PDCAサイクル（Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の四段階の繰り返し）を導入し、手順を踏んで行った。活動計画の一つとなるモニタリングについては、鷹島地区周辺の漁場十力所の内、以前藻場の繁茂が認められ、なおかつ磯焼けの進行が著しい六力所を選定した。

春季・夏季について平成二十八年七月から調査を行い、平成三十年二月から冬季の調査を行った。結果、春季・夏季については二地区で被度の増加が見られ、その他の地区では横ばいで推移した。冬季については一地区で減少したものの二地区で増加が見られた。

有害生物の駆除では、ガンガゼやムラサキウニ、アイゴなどの植食性生物が多数確認されたことから、これらによる被害が要因ではないかと想定された。そこで、平成二十五年度は素潜りと船上からによるガンガゼ駆除を行った。また、平成二十六年度からは部でウエットスーツを全員に購入して素潜りのみで作業を行った。

この結果、ガンガゼの分布・生息状況については、駆除作業の継続が功を奏し、地区全体における密度分布の減少が認められている。

市販レンガブロックによる海藻の増殖では平成二十六年度に海藻の繁茂している地区から、幼体の移植による増殖を試みた。具体的には、海藻の繁茂が多い五月の藻場を中心にブロックを海底に設置した。周囲には、種の付着を促進するためのホンダワラ類の母藻と重しの石を入れたスポアバッグを設置した。設置して六ヶ月後の十一月に、海藻類の着生がブロックに確認されたため、同時期に他の海域の藻場が消滅した境界付近や砂地に集中してブロックを移設した。

移設一年後のモニタリングでは、ブロック上の幼体の成長が確認できたことから、ブロック設置により、ホンダワラ類の藻場の拡大につながる事が分かった。

なお、ブロックに着生した幼体は、移設後の環境に適応でき、ホンダワラ類の増殖を中心に行うことが、海藻の大きな増殖効果が得られると考えられる。

ガンガゼの試験販売では、つぶすガンガゼが余りにも多いことから、食用として有効利用できないか、また、青年部の活動経費に充

てることができないか考えた。そのため、駆除したガンガゼを海底でつぶさずにそのまま取り上げ、漁協荷さばき所においてトゲを落として、漁協経由で長崎県漁連に活魚で出荷した。

活魚槽に活魚とウニを詰め合わせての輸送において、ウニの粘液により活魚が衰弱するなど課題があり、また、トゲ取りなどの出荷作業に手間がかかり、販売は一回のみとなった。時期を見て、販売方法などの改良を行いたいと考えている。

波及効果として、保全活動は、青年部活動として定着し、一定の効果を生み出したことから部全体としての活動を活性化させた。また、今まで交流がなかった、県北地区の佐世保市相浦地区、小佐々地区、鹿町地区とともに、同じ青年部同士による情報交換により、さらなる効果的な手法についても併せて検討を続け、藻場回復の輪を広げている。

今後引き続き保全活動を継続し、魚類を含めた資源の回復を目指し、漁場環境の改善に対する活動を広く展開し努力していきたい。

募金ありがとうございます

(公財) 漁船海難遺児育英会

(公財) 漁船海難遺児育英会は、漁船の海難事故(転覆・衝突等)や海中転落等の事故により、親を亡くされた遺児の経済的・精神的援助を目的に設立され、幼児から小中高生・大学生に学資の給与事業を行っています。

しかし、教育費の高騰により資金的にはまだ十分とはいえませんので、今後とも皆様の温かいご協力をよろしくお願いいたします。

四月には次の方からご寄付をいただきましたので、ここに厚くお礼申し上げますとともに、紙上にお名前を掲載させていただきます。(敬称略)

【団体】 ▼五島ふくえ漁協女性部

ガザミを採捕される皆様へ

長崎県有明海ガザミ資源回復計画作成協議会

日本海・九州西広域漁業調整委員会指示により広域資源管理のために講じる措置としては、左記の通り取組むこととなっています。

(一) 漁獲努力量削減

- ①抱卵ガザミの再放流又は一時蓄養により産卵機会を確保する。
- ②全甲幅長十二センチメートル以下の再放流。
- ③軟甲ガザミの再放流。
- ④八月一日から六月十五日までのたも網その他すくい網による禁漁。

(二) 資源培養措置

関係県による積極的な種苗放流を実施する。

(三) 漁場保全

ガザミ成育場の環境改善、生産力回復のため、海底耕耘、覆砂等の実施

また、各県自主規制を設け取組んでいます。
※長崎県では、全甲幅長十三センチメートル以下の小型ガザミを再放流することとしています。

ガザミを採捕される皆様へ

ガザミの採捕禁止 (6/1~6/15)

有明海では、**6月1日~6月15日**の間、**漁業者だけでなく一般の方もガザミをたも網その他のすくい網で採捕することは禁止されています!!**

これは、日本海・九州西広域漁業調整委員会指示による公的規制です。

※同年、**全甲幅長12cm以下の小型ガザミの再放流**にも取り組んでいます。



福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県

水産庁九州漁業調整事務所
(問合せ先: TEL.092-273-2004)

持続化給付金制度に関するお知らせ (農林漁業者・食品関連事業の皆様も対象です)

持続化給付金とは

新型コロナウイルス感染症の拡大により、特に大きな影響を受ける事業者に対して、事業継続を支え、再起の糧として頂くため、事業全般に広く使える給付金を支給します。

給付額

法人は二〇〇万円まで、個人事業者は一〇〇万円まで

※ただし、昨年一年間の売り上げ減少分が上限です。

■給付額の計算方法

前年の総売上(事業収入)ー(前年同月比五〇%月の売上×十二ヶ月)

※給付を対象とする月は、二〇二〇年一月～十二月のうち任意のひと月を、事業者にて選択

給付対象

◆二〇二〇年一月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ひと月の売上が前年同月比五〇%以上減少している事業者

◆二〇一九年以前から事業による事業収入(売上)を得ており、今後も事業を継続する意思がある事業者

◆資本金十億円以上の大企業を除く、農林水産業、食品関連事業を含め、業種横断的に個人事業者や法人を開く対象とします。また、農事組合法人、協同組合など、会社以外の法人についても幅広く対象となります。

申請情報・書類

一・個人の場合

氏名、住所、生年月日、電話番号等の基本情報に加え、次の書類が必要です。

- ①二〇一九年分の確定申告書第一表の控え(収受日付印が押してあるもの)
- ②青色申告者にあつては、所得税青色申告決算書(二枚)の控え
- ③申請の対象とする月の月間事業収入がわかるもの(売上台帳、帳面等の二〇二〇年の確定申告の基礎となる書類が原則)
- ④申請者本人名義の振込先口座の通帳の写し

- ⑤本人確認書類(運転免許証、個人番号カード等)

二・法人の場合

法人番号、法人名、住所、業種、設立年月日、資本金、代表電話番号等の基本情報に加え、次の書類が必要です。

- ①申請を対象とする月に属する事業年度の直前の事業年度の確定申告書別表一の控え
- ②法人事業概況説明書の控え
- ③申請の対象とする月の月間事業収入がわかるもの(売上台帳、帳面など二〇二〇年の確定申告の基礎となる書類が原則)
- ④法人名義の振込先口座の通帳の写し

申請期間

給付金の申請期間は、令和二年五月一日から令和三年一月十五日までです。

※電子申請の送信完了の締め切りは、令和三年一月十五日の二十四時までです。

申請方法

WEB上での申請を基本とし、必要に応じ、感染症対策を講じた上で完全予約制の申請支援(必要情報の入力等)を行う窓口を順次設置します。

なお、長崎県の「申請サポート会場」は左記の通りです。

会場名	住所
佐世保会場	佐世保市常磐町四一七 Tビル2F特設会場
長崎会場	長崎市上町一三五 NBCアーブホール1F ABホール(アーブホール)
平戸会場	平戸市岩の上町一四八一一 平戸商工会議所2F大会議室/小会議室/会員ロビー
松浦会場	松浦市志佐町浦免一八〇七 松浦商工会議所3F大会議室/円卓会議室
島原会場	島原市高島二一七二七 島原商工会議所3F大ホール

持続化給付金の申請用HPはこちら
<https://jizokuka-kyufu.jp>

クロマグロTAC長崎県計画（第6管理期間）について

長崎県水産部漁業振興課

クロマグロ漁業関係者の皆様には、クロマグロ資源管理につきまして、日頃からご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。お陰を持ちまして、管理期間が始まった頃は全国的に都道府県への割当量を超過する事態が見られ、操業自粛を強いられることもありましたが、管理方法の改善が図られたことにより、割当量は遵守できるようになってまいりました。しかし、最近では、クロマグロの来遊状況により、海区毎の消化率にばらつきが生じ、

期間別先獲り方式を継続するとともに、県留保枠を県割当量の2%に減らすとともに、残りの数量を各海区の割当量として配分する等、県計画の改善を図っておりますので、主な概要について本紙面を用いて説明させていただきます。

※県計画 URL: <http://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2020/03/1585567599.pdf>

（1）各海区の漁業種類毎の割当量

なりました。TACは過去の漁獲実績に基づいて各県に配分されることから、県全体の消化率が低いと、将来的に本県の割当量が減らされるおそれがあります。そこで、県は、県全体の消化率を上げるために、消化率の高まった海区や漁業種類が、消化率の低い海区や漁業種類の未利用枠を消化できるようルールを策定しましたが、なかなか融通が進みませんでした。この原因として考えられるのが、一度配分すれば既得権益化すること、また、

① 本県に割り当てられた小型魚657.1トン、大型魚158.3トンを、2%の留保枠を確保して、残りを小型魚はH22～24年（歴年）の平均値、大型魚はH27～30年（各年4月から3月）の最大値を用いて各海区・漁業種類に配分しております。

本県はクロマグロの来遊時期は管理期間の後半のため、管理期間終了までは来遊を期待して枠を手放すのが難しいといった心理が働きます。

② 第5管理期間からの繰越しが生じた場合、当該数量は、第5管理期間当初の海区別及び採捕の種類別の割当量（ただし、第3管理期間の獲り控えによる上乗せ数量を除く。）から、第5管理期間の漁獲実績を差し引いた数量の比率で、海区別及び採捕の種類別に配分します。

そこで、第5管理期間（H31.4月～R2.3月）は、期間別先獲り方式や、消化率の高まった海区に対して、県留保枠（県割当量の約1割）を優先的に配分する方式の導入を行いました。

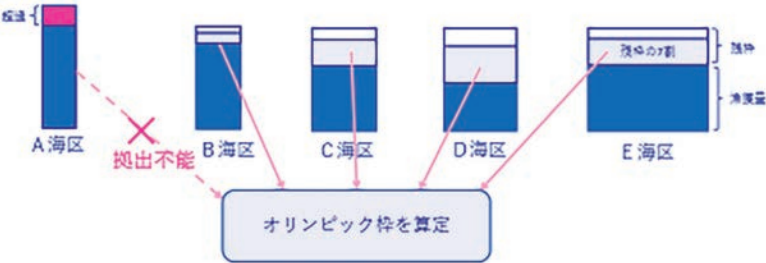
③ 国留保枠から追加配分が行われた場合は、①に規定する漁獲実績の比率に基づき、海区別、採捕の種類別に配分します。

第6管理期間（R2.4月～R3.3月）は

(単位：トン)

未利用分に対するオリンピック方式の導入

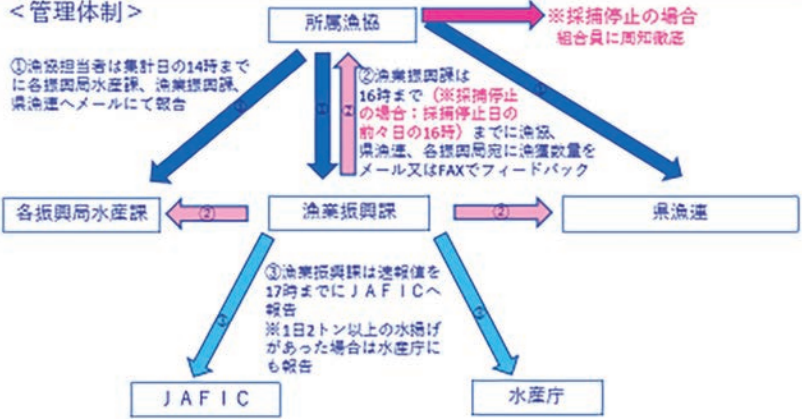
1. 1月31日時点の各海区の漁獲数量を集計し、オリンピック枠への拠出量を算定



2. オリンピック枠内でのオリンピック方式による漁獲を開始
＜ルール＞

開始時：県（振興局）は開始日の前々日の12時までに漁協・漁連へTEL及びFAXにより開始日時を通知するとともに、概要をHPに公表する。
漁協は通知を確認したことをFAXにより県（振興局）へ返信するとともに組合員へ周知する。
期間中：漁協は県・県漁連へ14時までに漁獲数量を報告。県は漁協・漁連に16時までに集計データをフィードバックする。
終了時：県（振興局）は終了日の前々日の16時までに漁協・漁連にオリンピック期間が終了する旨をTEL及びFAXで通知するとともに、概要をHPに公表する。
漁協は通知を確認したことをFAXにより県（振興局）へ返信するとともに組合員へ周知する。
※留意事項：1月31日時点で割当量の消化率が100%以上の海区又は漁業種別は参加不可。

＜管理体制＞



海 区／ 採捕の種類	小型魚の割当量			大型魚の割当量		
	漁船漁業	定置漁業	小 計	漁船漁業	定置漁業	小 計
県 南	2.34	0.10	2.44	0.30	0.78	1.08
県 北	30.36	5.29	35.65	0.30	9.82	10.12
五 島	108.69	15.56	124.25	0.30	18.29	18.59
壱 岐	137.21	4.35	141.56	102.51	6.61	109.12
対 馬	328.22	11.94	340.16	4.93	11.95	16.88
県留保枠	13.04			2.51		
合 計	657.10			158.30		

（2） 期間別先獲り方式の実施
1月末時点で海区毎の割当量の合計数量に
対して15%の未利用が生じた場合、各海区の
未利用分の7割を県が回収（県留保枠の追加
配分を除く）し、当該数量（オリンピック枠）
の範囲で一定期間のオリンピック方式を実施
します。
※第5管理期間のオリンピック効果を検証し
てから今後必要に応じて改善する可能性が
あります。

スマートフォン用サイト

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>



各情報のアイコンをタップすると情報の件名等が表示され、さらにタップすると詳細な情報が表示されます。

氣象警報・注意報等

■ 気象警報・注意報等のアイコンを
タップすると気象庁が発表する気象
警報・注意報等を確認できます。

氣象現況

■ 気象現況のアイコンをタップすると「風向、風速等」の数値等が確認できます。

海域情報

■海域の図形をタップすると船舶事故が多発する海域などの情報が確認できます。

現在地の座標

■現在地の緯度・経度を表示します。



※イメージ図です。

海難防止に係る
安全啓発情報等の表示

■全国的に共通する情報

※さらに表示部をタップすると詳細情報が表示されます。

緊急情報

■緊急情報のアイコンをタップすると航行船舶に影響のある緊急情報が確認できます。

【緊急情報】水中降着物倉庫（秋田県東津田郡）			
発着時刻	2019年02月27日 19時 40分	発着機器	第三管区海上保安本部
対象海域	秋田県、東津田、第二漁		
対象期間			
備考			
内容	秋田県、東津田、第二漁区において、水中降着物（漁網のフック）が浮上します。対象は、北緯35度30分～ 経緯140度05分の沿岸です。 秋田県漁政部は注意して下さい。 （参考）三管区域対応位置 番号第4号 2月3日19時40分発着		

パソコン用サイト

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/>



携帯電話用サイト

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html>



●本サービスは無料でご利用いただけますが、サービスを利用するために必要な設備やウェブアクセス、電子メールの送受信等に必要となる費用（通話料）については利用者の負担となります。

漁船海難月報 令和2年5月号 第七管区海上保安本部
交通部安全対策課 発行

令和2年4月
七管内漁船海難 計3隻

令和2年4月累計26隻(前年33隻)

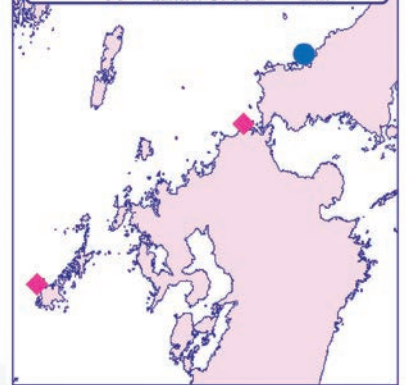
漁船海難発生累計件数は前年に比べ7隻減少

漁船海難発生数 (速報値)			県別内訳	
			4月	令和2年累計
運航不能 (無人漂流)	◆	2	山口県	1 (3 (4))
			福岡県	1 7 (7)
浸水	●	1	佐賀県	0 2 (3)
			長崎県	1 9 (13)
			大分県	0 5 (8)
合計 3 隻 (前年 10 隻) 死亡、行方不明者:1件			合計	3隻 26隻 (33隻) 〇は昨年同月

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。

令和2年5月1日現在、累計死亡・行方不明者数:7名

4月の漁船海難発生地点



＜事故事例(海中転落)＞

A丸船長は、操業中、何らかの要因で海中転落し、発見されましたが、その後、死亡が確認されました。

A丸船長は、一人で操業しており、救命胴衣は着用しておらず、また、家族に帰る予定時間を伝えていませんでした。

・出港する際は必ず家族等に予定を伝えましょう！
・航行中、操業中は必ず救命胴衣を着用しましょう！

・家族や友人に『何時までに帰る』『どこに行く』
といったことを伝えておくことで、あなたの異変に
早く気づくことができます。

・救命胴衣を着用していれば、浮いて救助を待つことができ、生存率が高くなります。



あっぱれ



信頼を実績で築く

船舶塗料の専門店

CMD 中国塗料株式会社 特別店 山二塗料です

外壁塗装+屋根塗装なら 無料 山二におまかせください!!

屋根瓦 100% 塗装
外壁 100% 塗装
室内壁 100% 塗装
床 100% 塗装
浴室 100% 塗装
トイレ 100% 塗装
玄関 100% 塗装
バルコニー 100% 塗装
フェンス 100% 塗装
トーンカラー

創業昭和34年の実績を結んだ専門店

山二塗料産業株式会社

佐世保店 ☎ 0956-31-8020
長崎店 ☎ 095-837-8020
鹿兒島店 ☎ 099-260-0600

グラビア印刷・ラベル・農水産用包装資材・発泡スチロール・包装機械



包装資材メーカー

株式会社 丸本

本部/長崎市田中町593-1 TEL(095)837-1100
営業部/長崎市田中町593-1 TEL(095)837-8205
メールアドレス/eigyoubu@marumoto-pack.co.jp
工場/福岡



簡易流速表示
ブイシステム

定置網周辺の潮流が
一目で判断出来ます

通信方式: 3G電話回線方式 (携帯圏内で使用)
計測項目: 水圧
計測点数: 1点 (指定水深位置)
計測間隔: 1時間間隔
データ送信間隔: 1時間間隔
動作電圧範囲: DC4.5V~DC8V
換算流速範囲: 0kt~2kt (最大) (水圧データから換算)
電源: 単一アルカリ乾電池 (4直列1並列)
電池寿命: 約 3ヵ月

株式会社ゼニライトブイ

九州営業所 TEL:092-674-0001 FAX:092-674-0002

NEW冷蔵庫長-40℃

BLAXX

High performance water Quilting

当社開発の新キルティング
“BLAXX”を採用し、保温性アップ。
さらに、抗菌防臭効果を発揮。



シバタ工業株式会社



本社・工場 〒674-0082 明石市魚住町中尾 1058
長崎出張所 〒852-8124 長崎市辻町 3-40 平山ビル 1F

TEL:078-946-1515 (代)
TEL:095-844-1210

プロフェッショナル向け保安用品を提供する専門店
SHIBATA PRO SHOP
http://shibataproshop.jp/

FURUNO



フルノ九州販売株式会社

本店 〒852-8003 長崎市旭町3番15号 ☎(095)861-3261
西九州支店 〒852-8003 長崎市旭町3番15号 ☎(095)861-3261
北九州支店 〒750-0067 山口県下関市大和町1丁目11番3号 ☎(083)267-9111
南九州支店 〒889-3204 宮崎県日南市南郷町中村乙4847番地 ☎(0987)64-1108

<http://www.furuno.co.jp/>



(有)正文社印刷所

〒850-0874 長崎市魚の町6番6号
TEL(095)826-0211 FAX(095)825-0538

URL <https://seibunsha.jp>

貝殻
リサイクル構造物

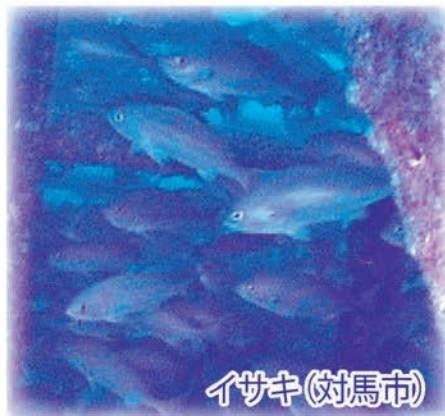
JFシェルナース



魚礁



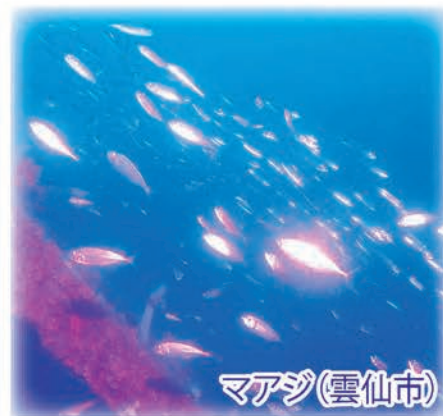
シェルナース6.0型



イサキ(対馬市)



ヒラマサ(五島市)



マアジ(雲仙市)



イサキ(平戸市)



クエ種苗放流(吉崎市)

育成礁



シェルナース2.2型

お問合先 JF長崎漁連 購販部 購買課 TEL 095-829-2420

開発・製造 海洋建設株式会社

JF
JFグループ

漁師の考えた藻場ブロック

かいそう 貝藻くん

第20回
国土技術開発賞
「創意開発技術賞」
を授賞しました！

漁港内での活用

漁港内に設置された貝藻くんは
放流の受け皿としての機能を発揮！

長崎県835基
(全国7,000基以上)
の採用実績
(2013~2020.3)



60cm × 55cm × 45cm、重量60kg



貝藻くんの下に隠れるクエ



クロメ成育状況



環境学習 (種系取り付け体験)



マダイ



カサゴ

JF
JFグループ

着けよう、
あなたが家族のことを
思うなら。



めざせ！
海難事故ゼロ

自分の命は自分で守る！
わずらわしさと窮屈さから解放！
ベスト感覚で着れる
ファッショナブルなライフジャケット
常時着用型救命胴衣（自動膨張式）



膨張時

反射リフレクター
エア吹入補充バブル
ホイッスル
炭酸ガスボンベ
手動レバー

お問い合わせは、長崎県漁連 購買課まで TEL 095-829-2418～2420

インターネットショッピングサイト

長崎県の安全・安心で新鮮な鮮魚・加工品を

インターネットを通じてダイレクトに食卓へお届けします！！

長崎漁連ウェブショッピング

<http://www.jf-nagasaki.com>



水産王国・長崎が誇る
海からの新鮮な贈りもの。
「安心」で「安全」な海の幸を
みなさまの食卓へお届けします。

全国第2位を誇る海岸線の延長を持つ長崎県、
多くの島々や半島・岬・湾を有しており、恵まれた漁場環境を生かし、
長崎県内JFグループの会員漁協では「安心」で「安全」な
「海の幸」をみなさまの食卓へお届けするため、努力しております。

初めての方へ

登録無料！

メール会員募集中！

メール会員登録するだけで、
毎月2～3個プレゼントが
当たるチャンス！

詳しくはこちら



JF 長崎県漁業協同組合連合会

漁協は、JFグループへ。

JFブランド商品

“ギョレンオイル大漁シリーズ”

漁船用エンジンのための最高級オイル。

〈エンジンオイル〉

大漁スーパー

大漁ロイヤル

大漁LL

〈油圧作動オイル〉

大漁ハイドロスーパー

〈冷凍機オイル〉

大漁ベストクール



海には、JFマークの商品を。

JF

JFグループ

問い合わせ先

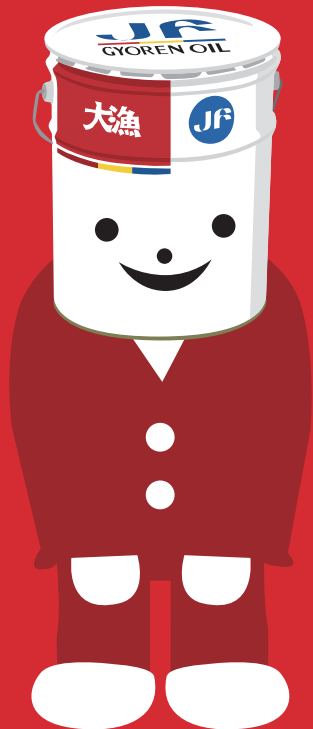
JF全漁連 購買事業部 石油第2課

TEL 03-3294-9632

JF長崎漁連 購買課

TEL 095-829-2419

JF
 JFグループ



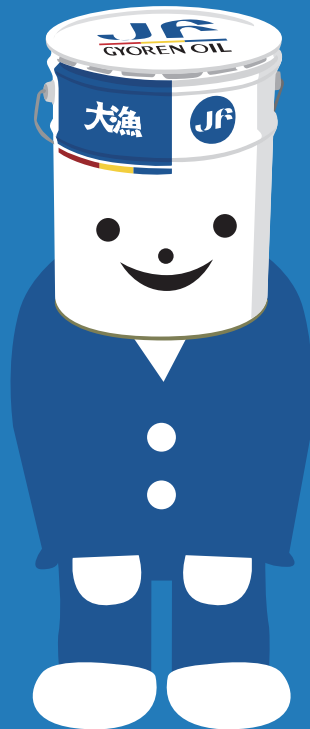
これからよろしく大漁オイル

ギョレンオイル
大漁
 シリーズ

（エンジンオイル）
 大漁スーパー
 大漁ロイヤル
 大漁LL
 （油圧作動オイル）
 大漁ハイドロスーパー
 （冷凍機オイル）
 大漁ベストケール



JF
 JFグループ



これからよろしく大漁オイル

ギョレンオイル
大漁
 シリーズ

（エンジンオイル）
 大漁スーパー
 大漁ロイヤル
 大漁LL
 （油圧作動オイル）
 大漁ハイドロスーパー
 （冷凍機オイル）
 大漁ベストケール

